

## 株式会社 山口技研

# あらゆる流体ハンドリングを自在に操る装置づくり

企画力  
自信有  
オンライン技術  
認作可  
小ロット



ミルクパック搬送・箱詰装置 (右)、接着剤ポンプユニット (左)

### 業務内容

必要な流体を必要な時に必要なだけハンドリング

住宅設備用接着剤、自動車用部品やビルの塗装等、流体を塗布する場面で技術を発揮するのが山口技研の設備だ。流体を必要な時に必要なだけ、適切な個所に塗布する装置の設計・開発・製造をしている。

取り扱い製品は幅広く、加熱炉や、性質の異なる2液を混合するポンプユニット、さらには、食品搬送機まで引き受ける。他にも、流体を硬化させる硬化炉やロボットを使った装置等、さまざまなニーズに見事に応えている。

### 強み

画像認識で塗布面を見分けスピーディに塗布

例えば、住宅用の玄関ドア等は小さな窓やドアノブがあり平坦ではない。そんな面に接着剤をいかにムダなくスピーディに塗るか。ユーザーが望むクオリティとコストに比べられるのが、同社の強みだ。自社で設計した装置に画像を認識させてプログラムを読み込ませる。あとは自動で対象物を判断し塗布、接着していくのだ。こうした顧客の要求を可能にするシステムや装置は、山口社長が前職の流体ハンドリングシステム会社で培ったノウハウがベースになっている。

また、自動車のマイコンセンサー等、繊細な部品加工にも同社の技術が発揮されている。従来、不可能とされた0・8ccの高粘度UVを、10・1で超微量同時計量塗布することに成功したのだ。

### 設計力

進化するニーズを即座に具体化

「こんな無理だよ」とあきらめ顔の顧客の希望を聞いて、その場で装置の図面を描いてみせる。「絵に描いたほうがイメージしやすい」と話す通り、顧客のニーズが目の前で具体化されていく。評判を聞きつけて遠方から依頼に来る人も多いそうだ。

それだけに同社が開発した装置にはユニークな物が多い。性質の異なる2種類の接着剤を数ミリピッチで均一に塗布するトーナメントノズルは特許を取得。さらに、流体を1・1〜100・1の間で精密に計量し、混練を連続的に行う装置や、フィードバック式電子制御の液装置は日本接着学会が発行する「接着の技術」でも取り上げられた。



多状態トーナメントノズル

### 後の展望

環境に配慮した塗装・接着装置で貢献したい

「必要な分だけ接着・塗装ができれば資源のムダが省ける」と山口社長。さらに空気中に塗装ミストや匂いを出さない装置づくりに挑戦したいと語る。現場が求めるニーズに丁寧に向き合う同社は、静かで衛生的な作業現場の実現にも貢献してくれらるだろう。

## COMPANY PROFILE

## 株式会社山口技研

大阪 23



外資系企業でエンジニアをしていましたが、平成7年に独立開業。流体を扱う路線で、独自の製品を開発してきました。3年ごとに規模を拡大し、特許も取得。求められるものを、いかに高いクオリティと適正な価格で提供できるか、現在も挑戦中です。まだまだ温めている企画がたくさんあります。少しでも多くのお客様に喜んでいただけるよう、尽力したいと思います。

過去の経験を活かして独自路線を開いてきました。お客様の立場に立ったものづくりを心掛けています。

代表取締役 山口 雅三さん



■主な事業内容  
接着剤塗布装置・高速搬送装置等の設計・施工等

■主な取引先(納入先)  
住宅メーカー、住宅関連機器メーカー、食品メーカー等

住所/〒552-0007  
大阪市港区弁天  
6-3-23  
TEL/06-6599-0101  
FAX/06-6599-0102  
創業/平成7年4月  
設立/平成10年7月  
資本金/1,000万円  
従業員/6名

<http://www.yamaguchi-giken.jp/>